

P T A 会報

賓根

編集・発行No.133

**奈井江商業高校
P T A 事務局**

 奈井江町南町2区
 TEL 0125-65-2239
 FAX 0125-65-2350

卒業生の皆さんへ


 P T A 会長
 井添 誠 二

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、これまでお子様を見守ってこられた保護者の皆様に心よりお祝い申し上げます。そして三年間熱心にご指導いただいた先生方、大変ありがとうございました。卒業生のみなさんは、奈井江商業高校での三年間の課程を修了しますが、コロナ禍のため、行事が中止になったり縮小されたりして、高校での思い出づくりの機会は過去の卒業生と比べると少なかったかもしれません。そのかわり、忍耐力を養ったでしょう。

これから進学・就職へと新たなステージのスタートを迎え、これまでと違う環境へ飛び込んでいくこととなります。それぞれ進む先は違いますが、学校に校則があるように進んだ先にも規則やルールあり、勿論、社会的な一般ルールもあります。高

校時代とは違い厳しい社会で過ごすためには、それぞれが決まりやルールをしっかりと守る必要があると思います。また、円滑なコミュニケーションを図るための第一歩として、今までと同様に挨拶と笑顔を忘れずに過ごしてください。

そして、小学校から高校までの二年の間に学び経験したことを活かし、自分に厳しく何事にも挑戦し耐える事が出来る力も身に付け強く生きていくってください。皆さんの今後の活躍を期待しております。



七十周年を共に迎えて


 校長
 佐藤 雅人

令和三年十一月二日、規模を縮小してですが、奈井江商業高校七十周年記念式典を挙行的ことができました。本校は、一九五一年、昭和二十六年四月、地域経済社会の担い手、指導者の育成を期待されて、開校しました。

校訓「自主、和協、希望」のもと、多感な青春時代を本校で過ごした卒業生は六七〇〇名を数え、多方面で活躍されていることは誠に喜ばしい限りです。昭和、平成、令和を通過してきた七十年の歩みは、人生と同じように、一言では表現できない激動の時を、それぞれの時代に関わった全ての人たちと生き抜いてきたと思うとその思いは何にも変えがたいものがあります。

全盛期には一学年五クラスを擁しながらも少子高齢化により生徒数は激減し、現在は「閉校」という二文字の波が押し寄せ、飲み込まれそうになっています。

それでも本校が一学年一クラスを維持し、今日に至っている根底には、創立以来、本校に携わった教職員の生徒に対する熱い指導と、その指導を受け、各方面で活躍し、母校の発展を願っている同窓生の温かい思い、さらには、この奈井江町という地域の限らない本

校へのご支援とご協力があったからこそと、確信しています。

商業教育の原点は人づくりです。それはこれからも変わりません。そこそこからこのからの高校教育は、学校だけではなく、地域の教育力を生かし、実際の社会や生活において生きて働くための知識及び技能を学び、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力などを身に付けることに重点を置きつつあります。そして、学びに向かう力や人間性を育み、社会に出てからも学校で学んだことを生かせる力をつけていく教育にシフトされていきます。これは従来より商業高校が指導してきた内容でもあるのです。つまり私たちが指導してきたことはこれからの高校教育の導（しるべ）となるものです。

厳しい時代ではありますが、これからも時代の流れを的確に読み取り、変化を恐れない強い意志を持って新しい第一歩を踏み出すことを、この七十周年を機会に強く決意し、これからの奈井江町の発展のみならず、全道全国さらには世界の発展に寄与する人材の育成に教職員一同努めていく決意です。

本年度、七十年という長い歴史の節目に共に過ごしたということはまさに奇跡であり、運命を感じます。

生徒の皆さんは、自分の未来に向かってしっかりと邁進することを望むとともに、保護者の皆様始め地域、同窓、本校に関わるすべての方には、今後とも本校の教育活動に対し、これまで以上のご指導ご協力をお願い申し上げます。

卒業担任より



3学年 担任
小泉 安 司

卒業生の皆さん。卒業おめでとう。

君たちが入学した3年前、教室内には、入学した喜びと、どうなるのかもわからない高校生活へのワクワク・ドキドキした心理状態からか、ちよつとはにかなだような初々しい顔が並んでいた。あれから3年。奈井江商業高校での生活を糧に、それぞれの顔も少しは社会人の顔つきに変わりつつある。しかし、その一方で、卒業後の新たな旅立ちを前に、高校入学時と同様に、落ち着きのない様子を見せてもいる。そのような中、一つの節目として卒業式を迎えた。たった二日経っただけであるのに、なぜか明日以降は世間的には「おとな」として扱われることになる。学生として、社会人として、自分の言動に責任を持ち、何をすべきかを常に自分自身で決めていかなければならない立場になる。政治・経済・労働環境の変化や、近所付き合いなど、さまざまな変化に君たちは立ち向かっていくのだろうか。これまでの少人数での学校生活からは考えられないことが、数多く待ち受けている。

そんな未知の大海に、海図も羅針盤

も持たずに、小さな手漕ぎの船の糧を入れた。たった一人で。

でも、そんな君たちにも帰るべき湊はある。保護者の元であり、友の元であり、高校生活での艱難辛苦の思い出であり、学んだこと、資格である。これまでの自分自身を財産に、海図や羅針盤を手に入れ、荒海を漕ぎ続け、新たな湊を探しに行つて下さい。

熟田津(にきたつ)に

船乗せむと 月待てば

潮も適ひぬ 今は漕ぎ出でな

額田王(万葉集)



高校生活3年間で 振り返って



3学年
小田島 悠 真

中学校を卒業して、まだ幼さが残るまま、真新しい堅い制服を着て、ここ奈井江商業高校に入学しました。周りは知らない人ばかり。恥ずかしくて、なんて声をかけたらいいのかわかりませんでした。あれから3年。もうすっかり大人顔までに髭も生え、毎朝の髭剃りと珈琲は欠かせない。高校生の3年間ってすごいなと感じる今日この頃です。

入学して最初の行事は宿泊研修。そのときにはすでに、クラスメイトとは仲良く話せるようになり、高校生活にも少し慣れてきました。班でカレーライスを作ったり、ゲームをしたりと、3日間生活をともにして、初めて仲間意識を感じられる行事となりました。その後も、学校祭や体育大会、球技大会など、いくつもの行事をクラス全員で乗り越えてきました。時には、話し合いの中で喧嘩をし、ぶつかり合うことが何回もありました。しかし毎回最後は仲を戻し、前以上に仲良くなっている気がします。

3年生になると、卒業後の進路を本格

的に意識するようになり、とうとう高校生活もあと数日かと思うとなんだかこみ上げてくるものがあります。これまで約3年間このクラスで過ごし、喜怒哀楽を感じながら過ごしてきた3年間。思い返せばたくさんの思い出があります。そして、これまで沢山の方々の支えがあったからこそ、私たちは伸び伸びと、高校生活を送ることができたと思います。本当に有難く思います。

私は、奈井江商業を選んで良かったと心から思います。私が希望する進路実現のために、休み時間や放課後、更には長期休暇などを利用して、部活の顧問に勉強を教えてもらい、有難い程に私をサポートしていただきました。そのおかげで、私は希望する進路を実現させることが出来ました。本当に、感謝の気持ちしかありません。それに、最高の仲間と出会えたことがなにより嬉しいことです。

これから私たちは、この奈井江商業を卒業し、就職・進学とそれぞれが選んだ道に進みます。これからの人生、楽しいことばかりでなく、辛いことも沢山あるかと思っています。それでも逃げることなく、常に前向きな姿勢と気持ちで、何事にも挑戦していきたいと思っています。この奈井江商業で学んだことは忘れずに、今後の人生のどこかで、役に立てていきたいと思っています。

これまで、本当にありがとうございました。

進路指導部より

「今年度の進路活動を振り返って」



進路指導部長

小泉 安司

今年は、昨年からの新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、進学ではオープンキャンパスがウェブ開催となったり、就職では合同企業説明会が分散・縮小されるなど、ウィズ・コロナのあり方が模索された中での進路活動となりました。

その中で、就職関係では、空知管内の求人はホテルなどで減少が続きましたが、製造業や建設業では堅調に推移しました。生徒の希望職種も製造・建築関係が多かったことから、全員内定をもらうことができました。

進学については、入学時からの希望を実現した生徒が多く、初志貫徹型だったと言えます。また、3年生になってから急ぎ専門学校から大学に方向転換した生徒もいましたが、努力の甲斐あって合格することができました。これは、生徒自らが目標を決めて取り組む事で、希望を実現できるということと、その力を彼らが持っていると言うことの証左といえます。

1月末現在では、さまざまな理由から、まだ2名の進路先が決まっていますが、この賓根が配布される頃には希望者全員が合格していることを願っています。

進路指導部では、1・2年生の進路実現に向け、企業見学会や職業適性検査の実施など、自分を見つめ、将来を考えるための取り組みを始めています。その中で少しでも早く就職か進学か、将来をイメージしながら具体的に考えてもらいたいし、そのためにもご家庭でご相談いただければと思います。

令和3年度 3年生進路決定状況(令和4年1月末現在)

			男	女	計
進 学	大 学		0	1	1
	短 期 大 学		0	2	2
	専 修・各 種 学 校		1	5	6
	合 計		1	8	9
	未 決 定 者		0	1	1
就 職	民間企業	空知管内	5	7	12
		道 内	0	1	1
		道 外	0	0	0
	公 務 員		1	0	1
	合 計		6	8	14
	未 決 定 者		0	1	1

令和3年度 進路合格・内定状況

令和4年1月末現在

<進学先>

《大 学》

北海道医療大学

《短期大学》

國學院大学北海道短期大学部 2名

《専修・各種学校》

専門学校北海道自動車整備大学校

北海道美容専門学校 2名

経専医療事務薬業専門学校

経専北海道どうぶつ専門学校

大原法律公務員専門学校

<就 職>

奈井江町

北海道住電精密株式会社 2名

北海道電機株式会社

砂 川 市

株式会社シロ

株式会社サンコー

滝 川 市

空知民主商工会

株式会社アイマトン

上砂川町

マイクログラス株式会社 北海道工場 2名

深 川 市

中本土建株式会社

三 笠 市

株式会社田端本堂カンパニー

留 萌 市

株式会社ハタナカ昭和

江 別 市

トップワーク株式会社

公 務 員

航空自衛隊 自衛官候補生



見学旅行の思い出



2学年

金澤 明日翔

いつもより早い時間に起きて学校前集合。バスで新千歳空港に向かい、飛行機に乗りました。青森空港に着いたらすぐに物産館を兼ねたビル「アスパム」に移動し、そのビルの10階にある食事処「西むら」で、僕たちは陸奥湾を一望しながら食事をしました。

それから、ねぶた祭の魅力を年間通して観光客に伝えるために造られた施設「ワ・ラッセ」に行きました。迫力のある「ねぶた」の山車はともかくこ良く、思わず何枚も写真を撮りました。ワ・ラッセからすぐ海に行けます。見学旅行に参加した9名全員が靴を脱いで海に入り、海藻を拾ったり、砂で遊んだりしました。その後、浅虫水族館に行きました。お目当てはイルカショー。目の前で繰り広げられる技はどれも凄く、イルカたちも可愛かったです。

2日目の午前中は三内丸山遺跡と弘前城へ行きました。

弘前城周辺は桜の季節でなくても綺麗で、敷地内にあったブランコに、みんなで交代しながら乗ったのも楽しかったです。午後になって、高山

稲荷神社に行く途中、鶴の舞橋に寄りました。そこから見える岩木山や津軽富士見湖といった周囲の景色はとても綺麗でした。高山稲荷神社では、たくさんさんの赤い鳥居が蛇行するように並んでいるさまも、山頂から見える風景も素晴らしかったです。神社なので、おみくじを引いて楽しみました。

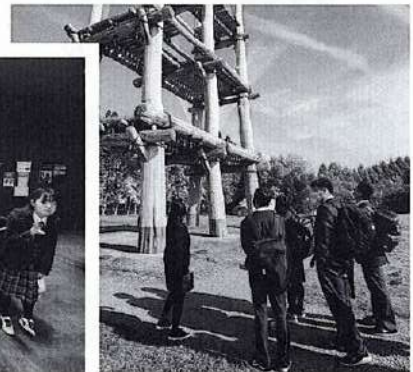
3日目は青森から函館に行くために「はやぶさ1号」に乗りました。2時間もかからないうちに新函館北斗駅に着き、新幹線がとても速いことを実感しました。

北斗駅から大沼公園へ。大沼公園で食べたメロンのソフトクリームは美味しかったです！

その後、大船遺跡に立ち寄ってから五稜郭タワーに向かいました。五稜郭タワーの高い所から見る五稜郭の遺構と函館市内の様子はとても素晴らしいかったです。また、夜になってからバスで函館山に登り、そこから見た夜景はものすごく綺麗で、まさに絶景でした。

4日目は函館市内を自由散策。旧ロシア領事館、金森赤レンガ倉庫、豊川稲荷神社、海神社などいろいろな所に行つて函館を満喫してきました。名残惜しみながら、学校に向かうバスに乗り、僕たちの見学旅行は無事終わりました。

様々な思い出ができ、本当に楽しく良い旅行ができました。



一年間を振り返って



1学年
半澤 楓

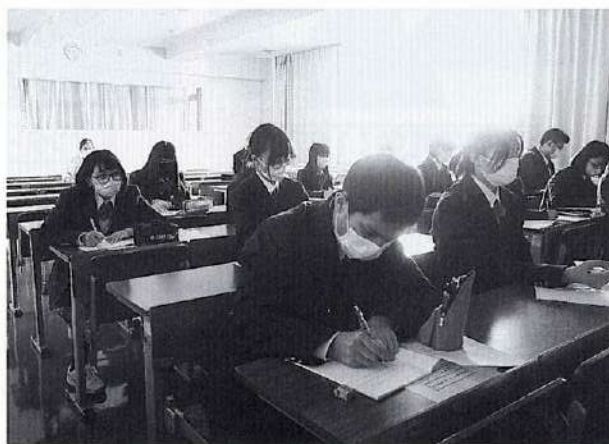
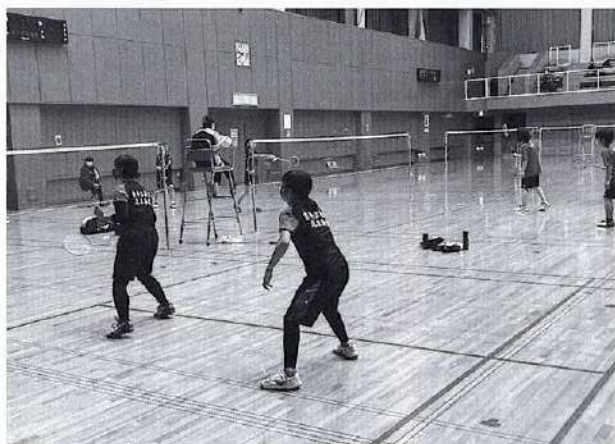
私は、この1年間を振り返るといろいろなことがあったと思いました。

まず初めての環境での授業や行事等、私にとってはハードルが高いものばかりでした。それにクラスには私と同じ中学校出身の子もいなかったため、そこからも不安を感じながら過ごしていました。しかし、周りのクラスメイトに話しかけてみると、みんな優しく、とても話しかけやすい人たちばかりで、時には私のことを心配してくれる人もいました。そして、私が不安定になったときにも、しっかりと寄り添ってくれる友だちもでき、本当に良かったと思いました。

そして私はバドミントン部にも入り、体をたくさん動かすことも多くなりました。部員の中で、私は全然体力もなく、バドミントンの知識もなかったのですが、心配になる点はいくつもありました。しかし大会にも出場できたのでうれしかったです。そして、知識も少しずつ身につけ、だんだん上達していることが感じられ、これからもっと頑張りたいと思っています。

この1年間は、いろいろな気持ちの

繰り返しでしたが、なんとか乗り切れたのではないかと思います。今もこれからも友だちを大切に、先生方にも助けてもらいながら、2年生になりたいと思っています。そして自分でもしっかり体調管理を行い、少しでも落着いて学校生活を送れるよう努力していきたいと思っています。



令和3年度 PTA・文体後援会活動

- 4月8日(木)
奈井江商業高等学校PTA・文体後援会入会式
- 4月17日(土)
奈井江商業高等学校PTA・文体後援会総会
- 4月23日(金)
奈井江町PTA連合会総会
- 5月19日(水)
第1回 PTA・文体後援会役員会
↓書面審議
- 6月5日(土)
高P連空知支部総会(深川市)
↓書面審議
- 6月5〜7月
第2回〜第3回 PTA・文体後援会役員会↓中止
- 6月12日
第70回全道高P連大会(旭川市)
↓オンライン開催
- 7月10日(土)
学校祭↓花火打ち上げ協力
- 9月30日(水)
PTA会報「實根」(第132号)発行
- 11月20日(土)
高P連空知支部秋季研修会(深川市)
- 12月4日(水)
奈井江町教育の明日を考える集い兼奈井江町PTA連合会研修会参加
- 3月1日(火)
PTA会報「實根」(第133号)発行
- 3月中旬
第4回PTA・文体後援会役員会(予定)

「自分新発見。 夢、奈商で。」

卒業おめでとう 奈商プライド 輝く未来へ新たな挑戦!【自主・和協・希望】



上級学校見学(1年)



インターンシップ(2年)



生徒会役員選挙



町長と語る会



1日防災学校



70周年記念式典



球技大会



課題研究発表会



珠算電卓実務検定(1年)